

ミヤコオオブユ

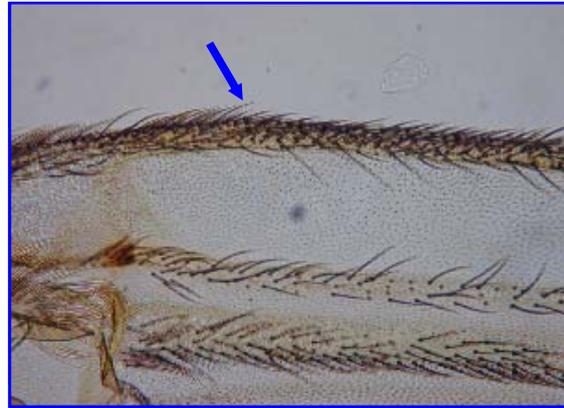
オオブユ属の種類です。成虫の翅の前縁脈に棘毛がないこと、サナギの繭は、極めて粗雑で決まった形を成さないこと、呼吸系が多いこと、幼虫の垂下唇基節の中央歯は強大で3分岐することなどがオオブユ属の特徴です。

ミヤコオオブユは、カニオオブユに似ていますが、サナギの呼吸系の分かれ方や幼虫の垂下唇基節の中央の歯の位置が異なります。

ここで使用した標本は、京都市左京区の奥深い山間部の広河原とよばれる地域を流れる上桂川とその支流で採集したものです。川幅があり、水の流れが速い山間部の河川で幼虫やサナギは、生息しています。時期をずらしてキアシオオブユも採集できる河川です。年間に1世代です。京都市左京区の広河原での成虫の出現時期は、4月ごろです。



京都市左京区広河原を流れる上桂川支流



翅の前縁は細毛だけで刺毛がない



粗雑に編まれた繭



垂下唇基節の歯は強大



サナギの呼吸系(16本)、カニオオブユのように上下に分かれない。